

会議録

会 議 の 名 称	令和元年度 第1回 枚方市食育推進計画審議会
開 催 日 時	令和元年 12月3日（火） 10時00分～11時55分
開 催 場 所	枚方市市民会館 3階 第4会議室
出 席 者	春木敏会長、渋谷眞宏副会長 宇佐見美佳委員、養父達也委員、田中絹代委員、堀久美子委員、 松本容子委員、末岡妙子委員、向井恵子委員
欠 席 者	富田丈滋委員、有川智博委員、井上努委員
案 件 名	1. 会長及び副会長の選出について 2. 会議の公開について 3. 第3次枚方市食育推進計画の進捗状況について 4. 第3次枚方市食育推進計画の中間評価に関するアンケート調査について 5. その他
出された資料等の 名 称	資料1 枚方市食育推進計画審議会の傍聴に関する取扱要領 (案) 資料2 第3次枚方市食育推進計画について 資料3 第3次枚方市食育推進計画における指標に関する現状 値 資料4 第3次枚方市食育推進計画の進捗状況一覧表 資料5-1 「食」に関する市民意識調査アンケート（20歳以上 対象） 資料5-2 「食」に関するアンケート（高校生・大学・専門学 校生対象） 参考資料1 枚方市食育推進計画審議会委員名簿 参考資料2 枚方市附属機関条例 参考資料3 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程 参考資料4 枚方市関係課名簿
決 定 事 項	・会長は春木敏委員、副会長は渋谷眞宏委員に決定した。 ・平成30年度の取組実績について確認した。 ・次年度実施予定のアンケートの設問内容について確認した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 (事 務 局)	健康部 健康総務課

審議内容

事務局

皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから枚方市食育推進計画審議会を始めさせていただきます。

皆様方におかれましては、大変お忙しい中、委員をお引き受けくださりまして、また本日ご出席賜りまして、まことにありがとうございます。

私、しばらくの間、本日の進行を務めさせていただきます、健康総務課の河田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今日は初めての会議でもございますので、出席者を紹介させていただきます。

事務局

まず、参考資料1に委員の皆様の名簿がありますが、こちらの順にご紹介させていただきたいと思っております。

甲南女子大学医療栄養学部教授の春木 敏 委員でございます。

羽衣国際大学人間生活学部准教授の宇佐見 美佳 委員でございます。

枚方市PTA協議会の養父 達也 委員でございます。

枚方市私立保育園連盟の田中 絹代 委員でございます。

富田 丈滋 委員は、本日ご欠席の旨、承っております。

枚方市立小学校長会、渋谷 眞宏 委員でございます。

枚方市健康づくり食生活改善協議会、堀 久美子 委員でございます。

北河内農業協同組合、松本 容子 委員でございます。

有川委員も、ご欠席の旨、承っております。

枚方市歯科医師会の井上 努 委員ですが、まだご到着いただけないようですので、ご到着次第、ご紹介させていただきたいと思っております。

枚方市コミュニティ連絡協議会、末岡 妙子 委員でございます。

枚方市食育推進ネットワーク会議、向井 恵子 委員でございます。

続きまして、枚方市の出席者の紹介をさせていただきます。

関係課のほうから順に紹介させていただきます。

農業振興課課長代理の橋本 昌幸でございます。

保健企画課長の橋本 美弥子でございます。

保健センター課長の栃川 和宏でございます。

地域包括ケア推進課長の矢野 千加子でございます。

子ども青少年政策課長の山下 恵一でございます。

子育て事業課課長代理の西田 恵子でございます。

子育て運営課長の田中 祐子でございます。

おいしい給食課長の亀野 真紀でございます。

教育指導課長の黒田 剛司でございます。

続きまして、事務局を紹介いたします。

山崎健康部長	<p>健康部長の山崎 宏でございます。</p> <p>健康部次長の小川 考之でございます。</p> <p>健康総務課課長代理の岸本 孝平でございます。</p> <p>健康総務課主任の浅井 悠でございます。</p> <p>健康総務課主任の山村 力也でございます。</p> <p>健康総務課係員の田村 朱穂でございます。</p> <p>以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、健康部長の山崎からご挨拶を申し上げます。</p> <p>皆様、改めましておはようございます。健康部長の山崎でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>本来でありましたら、伏見隆枚方市長がご挨拶を申し上げるところでございますけれども、あいにく他の公務が重なっておりますので、私から一言ご挨拶させていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>皆様には公私ともにご多用の中、当審議会委員のご就任を、快くお引き受けいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。また、本日は、会議へご出席いただきましてありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>本市では、食育推進の総合的な指針といたしまして、現行の第3次枚方市食育推進計画を平成30年3月に策定いたしました。本計画におきましては、これまでの食育推進計画の内容を踏まえ、国や府の計画とも整合を図り、本市における食育推進の方向性を改めてお示ししまして、食育の実践の環を広げることに重点を置きまして、啓発活動をはじめとしたさまざまな取り組みを進めているところでございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本市の食育施策のより一層の進展が図れますよう、当審議会におきましてそれぞれのご専門の見知から、幅広いご意見、またご指導をいただきまして、本市の食育推進施策に今後ともご支援、ご協力をいただきますようお願いを申し上げまして、簡単ではございますけれども、私からのご挨拶とさせていただきますと思います。どうぞ本日はよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>冒頭に申し上げましたとおり、本日は新たな委員のご就任後、初めての会議ですので、議事を進行いただく会長が決まっておりません。会長が決定されますまでの間、私のほうで進行させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>まず、委員の出席状況についてご報告させていただきます。</p> <p>本日の委員の出席状況は、12名中9名の出席をいただいておりますので、委員の過半数に達しておりますので、会議は成立していることをご報告させていただきます。失礼いたしまして、以後、着座にて進行させ</p>

	<p>ていただきます。</p> <p>次に、資料を確認させていただきます。</p> <p>お手元に置かせていただいております資料ですが、まず、次第でございます。次に、資料1、資料2、資料3、資料4。資料4がA3を2つ折りにしたものでございます。それから、資料5-1、資料5-2。その次に、参考資料1、2、3、4と机のほうに置かせていただいておりますが、全てでございますでしょうか。こちらは、事前にお送りさせていただいたものと同じものでございます。</p> <p>それでは、案件のほうに移らせていただきたいと思います。</p> <p>まず、案件1、会長及び副会長の選出についてでございます。</p> <p>恐れ入りますが、参考資料2、枚方市附属機関条例をご覧いただきたいと思います。</p> <p>本審議会は枚方市附属機関条例に基づく附属機関として、3ページの別表に「枚方市食育推進計画審議会」と記載がございます。</p> <p>担任事務は、枚方市食育推進計画の策定及び進捗状況の評価に関する調査・審議でございます。</p> <p>1ページに戻っていただき、条例第4条に会長及び副会長に関する規定がございまして、その第2項には、「会長及び副会長は、委員の互選によって定める。ただし、副会長については、会長が必要と認めるときは、その指名により定めることができる」とあります。</p> <p>そこで早速ですが、会長の選出に移らせていただきたいと思います。</p> <p>会長は、第3項の規定にありますように、会務を総理し、附属機関を代表されます。また、来年度は第3次食育推進計画の中間評価の年で、本審議会での評価を行っていただく予定となっております。</p> <p>それでは、会長につきまして、委員の皆様からご推薦はございませんでしょうか。</p> <p>では、宇佐見委員、お願いいたします。</p>
宇佐見委員	<p>私は春木委員を会長に推薦させていただきたいと思います。春木委員は枚方市の第1次の計画策定から審議に携わられておられます。そして、現行の第3次の計画策定についても会長としてご尽力いただきましたので、さらに来年度は計画の中間評価の審議もあるとのことですので、会長をお願いするにふさわしい方だと思いますので推薦させていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。甲南女子大学教授の春木委員をご推薦いただきましたが、皆様、いかがでしょうか。</p> <p>(一同拍手)</p> <p>ありがとうございます。それでは、本審議会の会長を春木委員にお願い</p>

<p>春木会長</p>	<p>いたします。</p> <p>どうぞ前のお席へ移動をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、春木委員、会長就任に当たりまして、一言、ご挨拶をよろしく願いいたします。</p> <p>ただいま会長に推薦されました、春木と申します。枚方市の食育推進第3次計画のスタートになろうかと思えます。第1次計画から同様に一緒にさせていただきまして、現在に至っております。</p> <p>枚方市は規模からいいますと中規模市です。あまり大きい市はなかなか食育を浸透するということは難しいですし、小さな市になるとまたそれなりにマンパワーも少なくて推進していくことが、難しいということがございますが、中核の都市においては、一番、食育推進を上手に進めていく環境が整っているのではないかと考えております。</p> <p>これは、別に枚方市だけを言っているわけではなくて、全国的にそのような傾向があります。</p> <p>第3次を迎えられまして、私は第1次から、力及ばずながら一緒にさせていただいております。役所の方々も熱心に食育にお力を出していただけているなあということで感心しておりますし、地域の皆様方も食育のことをよくご理解いただいて取り組んでいただけているように思います。</p> <p>ですので、この第3次あたりで、「お、枚方市、やってるやん」というような、何か一つ、評価を受けたいという意味ではなくて、枚方市の住民の皆様にとって食がいかにか大事かということを示したいと思えます。</p> <p>高齢社会に向かっております、そして日本人は非常に長命でございますので、末永く健康でありたいというのは各市民一人一人のニーズ、希望になっているのは、もうどこも同じなんです。</p> <p>その中で食事の管理というのはとても大事な部分です。この食育推進会議で進めていく事柄は重要なことと思っておりますので、地域の方々の活動でも一緒に手伝っていただいて、第3次食育推進計画を、微力ながら、皆様方とともに推進してまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、以後の進行は春木会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>春木会長</p>	<p>では、ただいまから副会長の選出をさせていただきます。</p> <p>副会長は、私は今、会長に推薦されまして、頼りないものですから補佐をいただきまして、会長に万が一事故があったときや不在のときに職務を代行していただくという任務があります。私のほうから指名させていただきますてもよろしいでしょうか。</p>

<p>渋谷副会長</p>	<p>では、副会長は、小学校長会の渋谷委員にお願いいたします。 渋谷委員は、前方の副会長席に移動をお願いいたします。 では、副会長の就任に当たって、一言、ご挨拶をお願いしたいと思います。 よろしく申し上げます。</p> <p>皆様、改めましておはようございます。ただいま、副会長ということでご指名いただきました渋谷といいます。よろしく申し上げます。</p> <p>今、会長のほうからいろいろ言われたんですが、私はこういう会議に出させてもらうのは初めてでして、わからないところばかりで、会長の補佐ができるかは全くわかりませんが、今は小学校でも、中学校でも、保育園、幼稚園でもそうだと思いますけれども、食育をたいへん大切に思っているところでございます。</p> <p>学校では食育計画を策定いたしまして、小学校1年生から児童及び保護者にその大切さを訴えているところです。</p> <p>皆さんと一緒にいろんなことを考えたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>春木会長</p>	<p>ありがとうございました。ご挨拶にありましたように、やはり乳幼児期から小中学生期までが、この食育を身につけていく一番重要なステージになります。</p> <p>ここで身についた食習慣は、食事のマナーとかを含めまして全て残っていきますので、ぜひこれからもよろしくをお願いしたいと思います。</p> <p>では、案件2へ移ります。会議の公開について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>参考資料3、枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程をご覧くださいと思います。</p> <p>こちらの規定に基づきまして、本会議の公開、非公開の取り扱いについてお諮りしたいと思います。</p> <p>第3条に、会議を非公開とすることができる旨、規定されております。しかし、本会議はこれら非公開とできる事項のいずれにも該当しないと考えられますことから、公開とさせていただきたいと思っております。</p> <p>会議録につきましても、発言された委員の氏名を公開することになります。</p> <p>また、会議を公開することから、傍聴を希望される方がいる場合に必要となる手続につきましては、この審議会で定めたいと思っております。その取扱要領の案を資料1にお示ししております。</p> <p>資料1が枚方市食育推進計画審議会の傍聴に関する取扱要領で、1から11までございます。こちらの内容につきましてご異議がございませんでしたら、ご承認いただければと思います。説明は以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。</p>

<p>春木会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程に基づき、本審議会は公開とするとともに、会議録についても発言された委員の氏名を公開することになるとのことです。また、傍聴に関する手続について、規定する取扱要領を事務局案のとおり定めるといことで、ご異議はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>では、ご異議等ありませんので、本審議会は公開とし、取扱要領を案のとおり定めるものといたします。</p> <p>では、事務局から、傍聴希望者の報告を求めます。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は、傍聴希望者はございません。</p>
<p>春木会長</p>	<p>傍聴希望者がございませんので、このまま進行させていただきます。</p> <p>では、議事に入ります。</p> <p>案件3、第3次枚方市食育推進計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、案件3、第3次枚方市食育推進計画の進捗状況についてご説明をさせていただきます。失礼して、着座にて説明させていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まず、お手元の資料2、第3次枚方市食育推進計画についてをごらんください。</p> <p>本日、取組の進捗状況のご説明に入ります前に、まず現行の第3次枚方市食育推進計画の概要についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、1、経過についてですが、本市では、食育基本法第18条に基づく市町村計画として、平成20年度から平成24年度までを計画期間とする枚方市食育推進計画、平成25年度から平成29年度までを計画期間とする第2次枚方市食育推進計画を策定し、保育や教育、医療、農業、市民活動団体等で構成されます枚方市食育推進ネットワーク会議を中心に、食育推進の取り組みを進めてまいりました。</p> <p>また、前期の計画期間終了後も継続して、総合的かつ計画的に食育を推進していくため、現行の第3次枚方市食育推進計画を平成30年3月に策定いたしました。</p> <p>この計画の概要について簡単にご説明させていただきたいと思えます。第3次計画の冊子をお持ちの方は、冊子の32ページをごらんください。</p> <p>もし、今、冊子がお手元にありませんでしたら、こちらの薄いカラー</p>

刷りのダイジェスト版の表紙から順にご覧いただきたいと思います。

まず、計画の基本理念ですが、基本理念としましては、「子どもから高齢者まで、一人一人が「食」に関する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけ、生涯にわたり健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するとともに、家庭・保育所（園）・幼稚園・認定こども園・学校・地域・生産者等が相互に連携し、ネットワークを築きながら市民活動としての食育の推進に取り組みます。」としており、こちらを、計画に基づいて全ての主体が目指すべき基本理念として定めております。

また、この基本理念を達成するための基本目標として、計画の冊子でいうと、理念の下段に、ダイジェスト版ですと、中面を開いていただきまして、一番左側のページの真ん中からやや下のところに基本目標という項目がございまして、基本理念を達成するための、計画における3つの基本目標を定めております。

1番目が、子どもから高齢者まで生涯を通じた食育の推進。2番目が、市民の健全な食生活を実践する力を育む。3番目が、家庭・保育所（園）・幼稚園・認定こども園・学校・地域・生産者等の相互連携による食育の推進。これらを計画の基本目標として定めております。

これらの目標を達成するためにさまざまな市の取り組みがありまして、それぞれの取り組みを、この基本目標の下にあります4つの基本方針に基づいて実施しております。

基本方針の1番が、若い世代を中心とした食育の推進、2番が、健康寿命の延伸につながる食育の推進、3番目が、ネットワークによる食育推進と食文化の継承、4番目が、地産地消の促進と環境に配慮した食育の推進でございます。

以上が計画の構成となっております。

それでは、お手元の資料2のほうにお戻りいただけますでしょうか。

現行の第3次計画の計画期間につきましては、平成30年度から令和5年度（2023年度）までの6年間となっております。

続きまして、3. 評価等といたしまして、本計画の進捗状況の評価の方法について記載しております。

まず、この矢印の下の表の、毎年度の項目ですが、毎年度評価を実施する内容としまして、前年度の取り組み実績を取りまとめ、進捗状況の確認を行うものとしております。

本日の会議では、この進捗状況のご確認を行っていただきたいと考えております。

次に、表の真ん中です。計画の中間年度の評価の取り組みですが、来年度、令和2年度がこの計画の中間年度に当たりまして、第3次枚方市食育推進計画において設定している指標について調査を行い、計画の達成状況について中間評価を行うこととしております。

指標の内容につきましては、後ほど資料3にてご説明をさせていただきますが、市民アンケートによる意識調査を実施することで各指標の現

状値を把握し、これをもとに本計画の推進体制や取り組みの手法について評価を実施し、改善を図るものでございます。

また、計画の最終年度である令和5年度につきましては、調査を行い、計画の達成状況について総合的な評価を行うとともに、次期計画についての検討を行います。

計画の概要については以上でございます。続きまして資料3、A3横の1枚の資料になりますが、第3次枚方市食育推進計画における指標に関する現状値をご覧ください。

こちらは、第3次枚方市食育推進計画で定める指標を一覧にまとめておきまして、資料にお示しのとおり、20個の指標があります。これらの指標につきまして、表の左から、指標の内容と計画策定時点であります平成29年度の数値、それから1つ右に現状値といたしまして平成30年度の実績、それから次に、計画最終年度であります令和5年度の目標値を記載しております。

20の指標のうち、市民意識調査によるアンケートや、各学校へのアンケート調査の実施によって把握できるものにつきましては、平成30年度実績に当たります現状値についてはバーで記載しております。

これらの項目については、来年度実施します本計画の中間評価の際に調査を実施する予定としております。

本日の資料では、網かけをしております各項目に現状値が入っておりまして、これらの項目は、本市の取り組み実績等から数値を把握して記載しております。

これらの指標の達成に向けて実施しております、個別具体の取り組みの一覧を集約したものが資料4、第3次枚方市食育推進計画進捗状況一覧表、A3のホチキスどめの資料ですが、こちらをご覧ください。

こちらの資料では、本計画に関連します主な取り組みを、先ほどご説明いたしました4つの基本方針ごとにまとめております。

資料の構成としましては、表の左から取り組みの方向性と個別の取り組み名、それから、矢印で表記しています、取り組みの対象となるライフステージ、事業の概要。そして、右のほうへ進んでいきまして平成30年度の取り組み実績、それから取り組みを実施するに当たっての課題、それから課題に対する対応策と今後の方向性、令和元年度の取り組み実施及び予定。最後に、一番右側に担当課を記載しております。

資料には非常に多くの取り組みについて記載しておりますので、本日は時間の都合上、基本方針ごとの概要をご説明させていただきます。

また、先ほどの資料3にお示ししております計画の指標との関連性とも随時ご確認いただくために、先ほどの資料3も参考にご覧いただきながら説明させていただきたいと思っております。

まず、1ページ目が、基本方針1、若い世代を中心とした食育の推進についての取り組みです。

まず、1ページ目からは、施策の方向性の(1)、妊産婦や乳幼児への

食育推進についての取り組みを記載しております。こちらに記載されている取り組みに関連する指標としましては、資料3に記載の指標のうち③-1、④、⑪が関連する指標となっております。

これらの事業としましては、1ページ目の一番上段の母子健康手帳で副読本の配付、それからマタニティスクール、妊産婦・新生児・乳児指導訪問、それから母乳相談、乳幼児健康相談、それから乳幼児健康診査。裏面の2ページ目に進みまして、離乳食講習会・幼児食講習会、それから子育てコール、健康教育、食生活に関する相談・指導事業、育児教室、栄養相談、ひらかた健康ほっとライン、それから3ページ目に進みまして、ひらかた食育Q&A、ここまでがこの方向性(1)に関連する事業、合わせて14の事業がございます。

これらの事業のうち、資料2ページ目の2段目にあります子育てコールの事業につきましては、既存の健康医療に関する相談窓口として、もともと設定されておりますひらかた健康ほっとライン24、このひらかた健康ほっとライン24の事業は、同じ2ページ目の一番下の段に説明がございますが、こちらの事業の中で育児等に関する電話相談を受け付けていることから、この事業に統合されるということで、子育てコールの事業は平成30年度末をもって終了いたしました。

健康ほっとライン24も、事業概要であったり、取り組みの実績については、資料の2ページ目の一番下段にお示ししているとおりです。

これらの事業について、課題のある事業についてはその課題を記載させていただきます。2ページの下から4番目、食生活に関する相談・指導事業では、食育便りを発行しておりますが、食育便りを今後保育に活用していくことが課題として上がっておりまして、今後、方向性としましては、食育便りや食育講演会を通じて各家庭における食育に係る意識の向上を図ってまいります。

また、同じ2ページ目のひらかた健康ほっとライン24につきましては、現状の課題として、必要なときに利用されるよう認知度を高めていくとともに、気軽に利用できる相談窓口と認識される取り組みが必要というところで事業の実施のための課題がございます。今後、認知度を高めていくために案内チラシの配布等により周知を図っていくものでございます。

そのほか、各事業の取組実績や今後の方向性につきましては、資料に記載のとおりでございます。

続きまして、資料の3ページ目からが基本方針1の施策の方向性の(2)です。

保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校における食育推進についての事業となります。これらの取り組みに関連する指標は、資料3のうち指標の③-2、③-3、⑤、⑥、⑦、⑪、⑭、⑳となります。

この方向性の(2)につきましては、乳幼児や小中学生等の児童生徒期、それからその保護者である青年期を対象の中心とした取り組みと

なっております。

個別の取り組みといたしましては、保育所（園）・幼稚園における食育推進研修会や保育所（園）・幼稚園・認定こども園におけるクッキング保育、保育所（園）・幼稚園・認定こども園における菜園活動、栄養教諭・栄養職員による食育の推進、それから食農体験学習支援事業、資料の4ページに進みまして、小中学校における給食試食会、小中学校における給食参観、生活習慣病予防対策事業や、再掲となりますがひらかた食育Q&A、これらの事業が関連する取り組みとなっております。

これらの取り組みの中での課題といたしましては、資料3ページの一番下の段になります食農体験学習支援事業では、農家の高齢化による実施の取りやめや、学校によっては近くに協力農家や実施できる農地がないなどの課題があるんですけども、これらの現状を踏まえまして、対応といたしましては、農家の高齢化に対しては農政全般の課題として新規就労者の確保等の農業者への支援を継続しながら引き続き事業に取り組んでいくということで、今後進めてまいります。

その他の事業の実績については、表に記載のとおりでございます。

続きまして、資料4の5ページをご覧ください。

こちらの資料5ページからが基本方針2、健康寿命の延伸につながる食育の推進についての取組となります。

まず、5ページからは施策の方向性（1）の生活習慣病予防のための食育推進についての取り組みの一覧となります。こちらに関連する指標は、資料3にある指標のうち⑧、⑨、⑪です。

こちらの事業については、主に青年期以上の成人を対象とした事業が中心となっております、取組名としては、再掲となりますが生活習慣病予防対策事業、それから生活習慣病予防のための教室、血糖コントロールセミナー、栄養相談、健康相談、特定保健指導。続いて資料の6ページに進みまして、これも再掲となりますがひらかた食育Q&A、それから成人向けの健康教育、ひらかたカラダづくりトライアルのバーチャル版、最後に、枚方キッチンなどの取り組みがこの（1）の方向性に関連する事業で、合わせて9つの事業がございます。

施策の中での課題といたしましては、5ページ目の一番下です。特定保健指導につきましては、特定保健指導の利用率が低いというのが現状の課題としてありまして、今後、この課題につきましては、平成30年度より集団検診時に特定保健指導の分割実施を新たに導入して、さらに集団検診の実施回数を増やすなどして機会をふやし、利用率向上に向けた取り組みを進めてまいります。

また、資料の6ページのひらかたカラダづくりトライアルバーチャル版では、こちらの事業の参加者向けのバランストライという項目があるんですけども、こちらの達成条件が現在、第3次食育推進計画の指標として掲げている主食、主菜、副菜をそろえた食事の習慣化に向けた指標と、この事業の中での指標が少しずれがあるということで、令和2

年度から第3次食育推進計画の指標を踏まえた達成条件に変更し実施できるように、今後、取り組みを進めてまいります。

その他の事業の実施状況につきましては、表に記載のとおりでございます。

続いて、資料の7ページに進んでいただきまして、7ページからが基本方針2のうち施策の方向性の(2)、高齢者の低栄養予防のための食育推進に関する項目です。こちらの項目での関連指標は、資料3に記載の指標のうち⑧、⑨、それから⑩となります。

こちらの事業の取り組みとしましては、7ページの一番上から歯周病検診、まんてん教室、後期高齢者歯科健康診査、8020達成者表彰、再掲となりますがひらかた食育Q&Aといった5つの事業がございます。

これらの事業につきましては、今後も引き続き継続して実施を進めていく予定としております。

それでは、次のページ、8ページに進んでいただきまして、8ページからが基本方針2の施策の方向性の(3)、歯と口腔の健康づくりの推進についてです。こちらで関連します施策の指標は、⑩と⑪となります。

こちらの項目につきましては、離乳食や幼児食講習会といった子どもを対象とした取り組みから後期高齢者歯科健康診査など幅広い世代を対象とした歯科口腔に関する事業というのがリスト化されています。事業としては、8ページの一番上から乳幼児健康診査、保育所・園による歯科健康診断、再掲となりますが離乳食講習会、幼児食講習会、それからブラッシング指導、学校、園の歯科健康診断、よい歯のコンクール。

次の9ページに、妊産婦歯科健康診査、成人歯科健康診査、再掲となりますが歯周病検診、在宅訪問歯科事業、障害者(児)施設歯科健康診査、それから再掲となりますが後期高齢者歯科健康診査、8020達成者表彰。

次のページ、10ページにも引き続きございまして、再掲となりますがまんてん教室とひらかた食育Q&A、これら15の事業が歯と口腔の健康づくりに関する事業となります。これらの事業についても、今後引き続き取り組みを実施していく予定としております。

それぞれの事業の取り組み実績については、表に記載のとおりでございます。

次に、10ページの下段からが施策の方向性の(4)、食の自立支援と食生活改善の促進に関する事業となります。こちらの施策のうち関連する指標は、資料3の⑧、⑨、⑩、⑪となっております。

こちらの事業は、主に高齢者、障害者の方を対象とした取り組みでございまして、取り組みといたしましては、身体障害者配食サービス、再掲となりますが在宅訪問歯科事業、栄養士派遣指導事業、元気はつらつ健康づくり事業。それから、11ページに進んでいただきまして、こちらは再掲となりますが、まんてん教室、ひらかた食育Q&Aの配布と、合

わせて6つの事業がございます。

それぞれの取り組み実績につきましては、表に記載のとおりです。

これらの事業についても、今後、継続して実施を進めてまいります。

それでは、次に資料の12ページに進んでいただきまして、施策の方向性の(5)、食の安全・安心の確保に向けた食育推進の取り組みでございます。こちらに関連する指標は、資料3のうち指標の⑪と⑫となります。

事業といたしましては、この3つの事業がございまして、消費者啓発教育事業、食中毒予防3原則の周知、それから再掲となりますが、ひらかた食育Q&Aといった3つの事業がございます。これら3つの事業について、今後も継続して啓発の取り組みを実施する予定です。

その他の事業実績は、資料に記載のとおりでございます。

続きまして、資料の13ページに進んでいただきまして、基本方針2のうち施策の方向性の(6)、衛生管理、生産者への研修会の開催等の推進でございます。こちらにつきましては、資料3のうち⑬が関連する指標となります。

取り組みといたしましては、衛生指導、衛生管理研修、それから特定給食施設等を通じた食育の推進、それから農薬安全使用講習会といった4つの事業がございまして、食中毒の発生の予防等に向けて今後も啓発などの取り組みを実施していくものでございます。

取り組み実績については、資料に記載のとおりでございます。

それでは、資料は次のページに進んでいただきまして、14ページでございます。

14ページからは、基本方針の3番、ネットワークによる食育の推進と食文化の継承についての取り組みでございます。

まず、施策の方向性の(1)、ネットワークを生かした食育推進の取り組みです。こちらに関連する指標は、資料3の指標のうち⑭、⑮、⑯、⑰となります。

こちらの取り組みといたしましては、再掲となりますが食農体験学習支援事業、それから小中学校における給食試食会、農業振興補助事業、農業ふれあいツアー、農業まつり、それから次の15ページに進んでいただきまして、ひらかた食育カーニバル、再掲となりますがひらかた食育Q&Aといった、7つの事業がございます。

こちらの事業の中で農業に関連する事業の課題といたしましては、農業者の高齢化によるところで、先ほどの食農体験学習の実施の取りやめであったり、農業振興補助事業では直販の実施回数の減少などという点が課題としてあるんですけども、こちらの施策につきましても先ほどと同様に新規就農者の確保等の農業者支援も継続して行い、今後も事業が継続できるように取り組みを進めていきたいと考えております。

次に、資料の16ページにお進みください。

資料の16ページからが、基本方針3の方向性のうちの(2)、多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる食育推進に関する取り組みで

ございます。こちらにつきましては、関連する指標は、資料3のうち⑬となります。

こちらの事業としましては、子どもの居場所づくり推進事業、再掲となりますが身体障害者配食サービス、それから共食啓発事業といった、3つの事業がございます。

そのうち子ども食堂の開設や運営に向けた支援や取り組みであります子どもの居場所づくり推進事業の中では、課題といたしまして、現在設置されていない小学校区などの地域を中心として子ども食堂の新たな開設に向けて取り組みを進めていきたいという点と、また、今現在、既に実施されている団体が今後も効果的、安定的に事業を実施できるよう、人材や食材の確保、地域や学校との連携について、さまざまな支援が今後に必要なようになってくるというところで、課題として認識しております。

今後の対応策や方向性としていたしましては、子ども食堂が今後新たに開設されるように制度の周知などの働きかけを行っていくとともに、また、各実施団体さんと地域や小学校等の関係機関との連携の強化、それから食材の寄附やボランティアなどの支援についても今後、コーディネート支援に取り組んで事業を進めていきたいというふうに考えております。

また、この16ページの一番下の、共食啓発事業ですけれども、この事業は第3次計画から新たなテーマ、取組として実施をしております。

この共食啓発事業では、先日、委員の皆様には食育啓発リーフレット、昨年度作成したものをお送りさせていただいたんですけれども、こういったリーフレットを活用した啓発であったりとか、小中学校での給食試食会、それから地域でのいきいきサロン活動などのさまざま各種事業の中で機会を捉えてこの共食といったテーマについて広く啓発を実施したものでございます。

では、次に、資料の17ページに進んでいただきまして、17ページからは、基本方針3番の施策の方向性(3)、地域における食育の環境づくりの取り組みでございます。関連する指標としましては、資料3のうち⑬と⑮となります。

こちらの取り組みといたしましては、上から子ども料理教室、親子料理教室、健康づくりボランティア講座、いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座、健康料理教室、健康づくりボランティアを対象としたフォローアップ研修、男の料理教室。次の18ページに進んでいただきまして、食環境づくり推進事業、一般向けの料理教室といった事業がございます。

これらの事業の中では、主に、ヘルスメイトさんや健康リーダーさんなどでボランティアの皆様のご協力をいただいて、幅広い対象に向けて講座などの取り組みを進めるような事業となっております。

また、事業の中での課題といたしまして、親子料理教室、17ページの上から2つ目になるんですけれども、親子料理教室は昨年度、取り組み実績がなかったので0回ということになっているんですけれども、こち

らの現状としましては、生涯学習課では親子を対象に料理だけではなくさまざまな生涯学習のテーマを毎年設定して実施しているということで、昨年度は、この料理教室は実施がなかったんですけども、今年度は1回開催されて、引き続き実施をしていく予定としております。

また、次の17ページの上から3番目の健康づくりボランティア講座では、応募数が定員に満たない状況が続いているというような課題がありまして、こちらにつきましては、周知期間や受け付け方法を変更し、受講生の増加を図っているところでございます。

また、課題が挙がっている事業としましては、同じ17ページの下から3番目の健康料理教室についてです。こちらにつきましては、枚方市の健康リーダーさんにご協力いただいている事業ですけども、健康料理教室の開催回数の減少というのが現状の課題としてありまして、今後、従来の健康料理教室に加えて、市と連携して、ボランティアさんに負担がかかり過ぎないような形での栄養講座を実施することで、講座が継続できるように取り組みを進めてまいります。

また、資料の18ページに進んでいただきまして、食環境づくり推進事業ですが、ひらかた健康3ツ星レストランについての課題が現状としてありまして、平成30年度の実績では健康3ツ星レストランの協力店舗数は22店舗だったものが、令和元年度、今年度では協力店舗数が19店舗ということで、長年継続してきた事業の中で協力店舗数の拡大だけを図っていくのは難しいので、今後の対応としては、ヘルシーメニューの利用機会の増加を図る新たな取り組みとして、利用が多く見られる中食というのに注目して、中食を提供するスーパーマーケットさんに協力を募るなど、新たな取り組みをこの事業の中で実施していく予定としております。

その他の事業の実績については、表に記載のとおりでございます。

次の19ページに進んでいただきまして、19ページからは基本方針3のうちの施策の方向性(4)、食文化に関する啓発や情報発信の強化についての取り組みでございます。関連する指標は、資料3のうちの⑪と⑯となります。

取り組みといたしましては、学校給食における行事食、郷土料理の提供、イベント等における地元食材を使ったレシピの配布、給食便り、ホームページ等による行事食等の情報発信、友好・交流都市物産展、それから再掲となりますがひらかた食育カーニバル。20ページに進みまして、こちらも再掲となりますが、ひらかた食育Q&Aと枚方キッチンの事業が関連する事業となります。

これらの情報発信につきましては、それぞれの事業の中で今後も継続して情報発信の取り組みの強化を図ってまいります。

配布の実績やイベントの実施の状況などについては、資料に記載のとおりでございます。

次に、資料の21ページに進んでいただきまして、こちらが基本方針4、

地産地消の促進と環境に配慮した食育の推進についての取り組みとなります。

まず、基本方針4のうち施策の方向性（1）の地産地消の促進の取り組みについては、関連する指標は⑪、⑰、⑱、⑳となります。

こちらの取り組みといたしましては、小学校給食における地元農産物の使用、それから再掲となりますが農業振興補助事業、イベント等における地元食材を使ったレシピの配布、農業ふれあいツアー、農業まつり、ひらかた食育Q&Aとなります。

こちらも前の項目からの再掲の事業が多いんですけども、引き続き農業者らの高齢化に関連する施策については、課題と今後の対応、方向性については先程と同様の記載をさせていただいております。

また、一番上の小学校給食における地元農産物の使用につきましても、課題といたしまして、生産者の高齢化等による生産規模の縮小から学校給食での使用量も減少しつつあるという点で、生産者の高齢化という点が課題となっております。

今後の対応といたしましては、引き続き、使用量や使用品目が増加するように生産者やJA等関係機関と調整を図って、向上を図ってまいります。

続きまして、資料の22ページをごらんください。

基本方針4の施策の方向性（2）、農を身近に感じる食育推進といたしましては、関連する指標は資料3の⑭、⑱、⑳となります。

こちらは、食農体験学習支援事業、農業ふれあいツアー、農業まつりと、関連する取り組みは3つございます。

こちらにつきましては、いずれも再掲の事業となりますので、説明は割愛させていただきます。

続きまして、同じページの下段、施策の方向性の（3）、環境に配慮した食育推進に関連する指標は資料3の指標⑪と⑱となります。

取り組みといたしましては、学校給食ごみの分別化、それから4R啓発事業、生ごみ堆肥化事業、エコレンゲ米生産事業、それから次の23ページに進んでいただきまして、再掲となりますがひらかた食育Q&Aといった、5つの事業がございます。

これらの啓発事業につきましても、4R啓発事業などを中心に食品ロスの削減を呼びかけるなどさまざまな形で啓発事業を進めてまいります。

基本方針ごとの取り組み状況は以上でございますので、案件の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

大変たくさんの資料についてご説明をいただきまして、ありがとうございました。

今ほど報告いただきました食育推進計画の進捗状況について、ご意見、ご質問等、ございませんか。小さなことでも結構です。どうぞ。

春木会長

末岡委員

非常に内容が多かったのでどこからお話したらいいかわからないのですが、例えば、学校の調理実習でカレーをよく作ると思いますが、排水口にちゃんとネットをかぶせるという指導がなされているのでしょうか。

また、よくコマーシャルで、鍋に洗剤を入れたら汚れが浮き上がるから、そのまま流していいんだというような宣伝がよくあると思うんです。ゴシゴシとしなくて大丈夫ですと。

ところが、油を排水溝に流すということは、最後に記載があります、環境に配慮した食育推進という項目との関連で、環境に配慮するときに分別は当然重要になってきます。

私もひらかた環境ネットワーク会議というNPOの理事をやっておりますから、そこも分別について取り組まないといけないのですが、本当に油物を平気で流すということは、どうも学校教育の中できっちりとした指導がなされていないのではないかと、という気がしています。

先ほど渋谷副会長から、食育計画を学校の中でしっかり組み立ててやっていますという話がありました。学校の調理実習のときにどんな形で指導されているのだらうと、ちょっと不思議に思うような場面があります。

私の場合、土曜日のいきいき広場をやっていて、年に2回カレーを作ります。保護者も含めて、必ずウエスを用意して、拭き取りなさいということと、その前段階で、最後の最後まできれいに取って、全部食べ尽くしなさいという指導はしていますが、それをきっちり言わなかったら平気で流してしまいます。最後まできっちり食べ切ろうとしない場合もあります。

本当にちゃんと指導がされているのかという心配があります。学校の先生方は若い方々が最近増えておりますので、そこまでの分別とかごみに対する意識があるように思えないです。すみません。

それと、農業者の高齢化などにより、という説明がたくさん項目で出てきました。学校の中で植物を育てそれを食べるという経験はしっかりと積んでほしいと思っています。それをご家庭に任せるといのはなかなか難しく、せいぜいミニトマトを育てるといことは、小学校で一人一人がやっているところは見受けられます。

ただ、立地によって周りに農家がないというのもよくあることですし、できるだけ地域の方々がお手伝いしながら稲を作ってみたり、学校の中でバケツで稲をつくるような姿を見ることもよくありますが、これも私の経験談でしかないんですけれども、いきいき広場で農園をやっておりますので、そこに来る子どもたちにしか体験させることはできていませんが、自分で育てた野菜を食べるとい経験をしてもらっています。

学校に関わりのある地域の人たちをできるだけ引っ張り出して、食育につながるような活動を、場面を捉えていろいろとやっていくといいな

<p>春木会長</p>	<p>と感じております。</p> <p>ご質問をここで一度切らせていただいてもいいですか。</p> <p>今のご意見に対して、委員の皆様、日々、食育活動をなさっている中で、こういうことがありますよとか、それはなかなか難しく進められないとかございますか。いかがでしょうか。</p> <p>渋谷先生は小学校ですね。</p>
<p>渋谷副会長</p>	<p>はい。</p>
<p>春木会長</p>	<p>小学校は給食指導がありまして、今もご指摘の中にありましたけれども、そうした油物の取り扱いについて、食器は給食室で洗浄しますので、家庭科の学習で調理実習を一部行う、農業体験に出かけるなどがありますが、その中で、ご指摘のあったことに関連することがございましたらお願いします。</p>
<p>渋谷副会長</p>	<p>失礼します。先ほどのまず1点目の調理実習の件ですが、本校では、学校教育の中でカレーをつくるという場面はございません。別の調理実習はもちろん行われていますが、油を大量に使うという場面はあまりありません。フライパンに残った油であるなどは、キッチンペーパーで拭き取って別のところへ捨てる、生ごみも分別して捨てる、という方法で調理実習を行っております。</p> <p>2点目は、学校での菜園のご質問であったかと思えますけれども、おっしゃっていただいたようにミニトマトは作っております。</p> <p>ただ、学校のほうで作ったミニトマトをそのまま食べるということはおしておりません。子どもたち一人一人が1鉢ずつミニトマトを植えておりますので、できたものは持ち帰ってお家のほうで食べていただいています。夏休みのときにはその鉢を全部持って帰っていただいて、またお家のほうで食べていただくということです。</p> <p>もう一点、サツマイモの栽培もしておりますので、サツマイモにつきましては、学校のほうでそれを調理して、スイートポテトという形で食べています。</p> <p>ほかにもナスビとかキュウリとか、それぞれの学年によりましていろいろなものを栽培していますが、それを学校で食するというは、なかなか衛生上難しい問題もありますので、やっていないというのが現状です。</p>
<p>春木会長</p>	<p>では、よろしいですね。ほかにご意見等がありましたらお願いします。</p> <p>地域の子どもたちへのクッキング指導などをされている方はいらっしゃいますか。</p>

田中委員	<p>何点かありますが、まず、2ページ目の真ん中あたりに食生活に関する相談・指導事業というのがありまして、事業概要のところ食育便りの発行という内容がありますが、これは誰が誰に対して出している食育便りなんでしょうか。</p> <p>教育指導課が行われているということは、幼稚園には流されているけれども保育園には流れてこない食育便りということでしょうか。これをちょっと教えてほしいと思います。</p>
春木会長	<p>一人ずつ回答してもらっていいですか。事務局からお願いいたします。</p>
黒田教育指導課長	<p>教育指導課、黒田でございます。教育指導課のほうからお答えさせていただきます。</p> <p>これは、公立幼稚園でつくられまして、それを保護者にお配りしているというものでございます。公立幼稚園は教育指導課が所管しておりますので、教育指導課ということで発信させていただいております。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。幼稚園だけということですね。</p> <p>それと、3ページの下から2つ目の栄養教諭、学校栄養職員による食育の推進というのがありまして、ライフステージが児童から生徒期ということになっていますけれども、児童から生徒期というのは小学校以上というふうに考えたらよろしいでしょうか。</p> <p>となると、取り組み実績のところ「園児がいろいろな食べものに興味を持ち」というところがどうなのかなということと、その令和元年度の取り組み実施予定のところ「3歳児を含めた」という、「3歳児」という文言が出ているのでライフステージと合わないというふうに思っております。</p>
事務局	<p>今、ご指摘いただきましたライフステージの考え方ですが、第3次食育推進計画の冊子の34ページ、または第3次食育推進計画のダイジェスト版でいいますと、一番裏面をご覧ください。</p> <p>ライフステージの区分というのはこちらにお示ししているとおりで、乳幼児期が0から6歳、それから児童生徒期というのが7歳から18歳になりますので、今、田中委員からご指摘いただきましたとおり、対象といたしましては乳幼児期から児童生徒期までを含んだ事業として記載するのが適切かと思っておりますので、今後の事業報告等の際に修正をさせていただければと思います。</p>
田中委員	<p>もう一点、よろしいですか。</p> <p>8ページの上から2つ目の、保育所・園による歯科健康診断というところで、事業概要のところ、各公立保育所において歯科健診を実施していますというところが、なぜ私立保育園が入っていないのかなと思</p>

	<p>ました。</p> <p>公立保育所は 11 園ですが、私立保育園は 42 園ありますので、入っ てもいいのかなと思います。人数でいっても私立保育園のほうが多い ですし、入れていただいてもいいのかなというふうに思います。</p>
春木会長	<p>事務局、お願いいたします。</p>
田中子育て運営課長	<p>子育て運営課の田中でございます。</p> <p>ご指摘のとおり、今、書かせていただいているのが公立保育所・園の 取り組みのみを記載させていただいていますけれども、もちろん私立保 育園のほうもされていると思いますので、そこも含んだ取り組み実績の 記載という形で検討させていただきたいというふうに考えております。</p>
田中委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
養父委員	<p>素朴な質問でも大丈夫ですか。</p> <p>子ども食堂というのは、いろいろとやっかけてくださっていると思いま すけれども、これは夕食だけなのでしょうか。</p>
山下 子ども青少年政策課長	<p>子ども青少年政策課の山下と申します。</p> <p>今、子ども食堂は、市のほうで補助金を出しながら団体さんに子ども 食堂を実施していただいています。市内で約 20 カ所行っています。そ のうち 1 カ所が、朝食の支援も行っている団体さんがおられます。その ほかは夕食の提供をいただいている状況でございます。</p>
養父委員	<p>ありがとうございます。朝食を欠食している人の減少といったところ も指標に上げているので、何かその辺の情報をもっとオープンにとい いますか、開示してもらえているのでしょうか。</p> <p>ちょっと私があまり関心がなかったもので、こういった活動がなか な周知されていないような気がしますので、全体的なネットワークも そうなんです、周知方法といったところを市の方にはぜひ頑張ってい ただけたらもっと広がるのかなと思います。</p> <p>私も含め、やや無関心な人は結構多くおられると思うのですが、た だそれでそのままにしてしまっただけでは、この活動自体が意味をな さなくなってしまうので、その辺りのところで。私もそうなのですが、 枚方市の方々にもちょっと尽力していただけたらというふうに思いま す。</p> <p>あと一点、よろしいですか。農家の方が、高齢化でなかなかと難 しい、ということ、新規就農者といったところの確保というのはど ういった形でされているのですか。</p>
橋本農業振興課課長代理	<p>農業振興課です。</p>

<p>春木会長</p>	<p>まず、高齢化に関しましては社会全体の問題でもあるのですが、枚方市の中では専門にして仕事としてやっていくというのもなかなか難しい面もございます。今、確かに新規就農の方もおられますが、他にも、シルバー世代や、農に関心のある方々の手助けも受けながら、農産物の生産に興味を持たれる方なども育成しながら、農家とあわせて農業の裾野を広げていくということで今、取り組んでいるところです。</p> <p>ということで、これは農政としての全般的な課題ですので、しっかり検討しながら進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>渋谷副会長</p>	<p>小学校ではどうしているか、ということでちょっと発言させていただきます。</p> <p>小学校のほうでも、体験させていただける農家さんがある学校は、子どもたちが行って、田植え、稲刈りだけではなく、野菜の栽培とか、あるいは収穫にも携わらせていただいているところはあると聞いています。</p> <p>ただ、学校のほうからお願いという形もするのですが、なかなか難しい面もありますので、今後、地域コミュニティという形でも、積極的にこういった取り組みを受け入れていただくところはないですかということで相談はしていますけれども、現状としては、地域の状況にもよりますので、なかなか難しいところはあるかなと思います。</p>
<p>末岡委員</p>	<p>P T A協議会には、例えば給食委員会などがあると思います。さきほど、子ども食堂とかはあまりご存じなかったとお聞きしましたが、もちろん各校区全てにあるわけではないのですが、P T Aさんが、欠食児童に着目した活動をなさるといったことはないのかなと思います。学校との連携の中で、もちろんP T AのTは学校の先生方ですし、学校から、自校の中で欠食児童がどういう状況にあるのかという情報をP T Aの方々を受け取る場面というのがあまりないのかなと感じます。</p> <p>それは今後、コミュニティスクールが進んでいって、多分P T Aさんからも今後コミュニティスクールに出ることになっていますが、これもあらゆる学校にできているわけではないので、よくわからない部分もあります。取り組みは各学校に任されているものですから。</p> <p>ただ、食育に関しても、本当に立地によって周辺状況が違いますので、今後、どれだけ農業に関わることができるか、食物を育てることができるかというのは、その学校の立地によるところが大きいわけです。</p> <p>そのとき、P T Aから地域の方々と連携してうまく交渉しながらいろんな取り組みを進めていくということがあってもいいのではないかと思います。</p>

	<p>うちの校区の場合、私自身が子ども食堂をやっておりますが、子ども食堂というものについて、私は、食育の対象とはあまり考えていません。貧困のループを断ち切るとか、やはり孤食であるとか、そういうところの解消ということからスタートになります。当然、食堂ですからおいしいものを、しかも安全なもの、国内産のもの、できるだけ地産地消とかそういうことは考えてやっておりますが、子ども食堂の中で好き嫌いを解消しようとかそういうことはあんまり考えていません。</p> <p>もちろん、「せっかく作ったんだから食べてごらん」という、「一口だけでも食べてごらん」というやり方はします。それと子どもたちと一緒に食材を切って調理して、「自分が調理したものを食べてみようね」という形で進めていくことはありますが、子ども食堂はやはり来てもらうというのが重要で、子どもたちが来て楽しんで、そこでいきいきとしていくという場ですので、嫌なものを無理やりに食べさせられるような、そんな場であってはいけないと思っています。</p> <p>みんなで楽しく、できるだけ食べられないものも食べられるようになるというきっかけになればいいな、といったレベルのことは思っていますが、あまり、食育といえるほどのことをしているかなという気持ちは持っています。</p> <p>食材は、子ども食堂に、少し期限が近くなった食材が送られてくるような場面もあるかと思いますが、私たちは、できるだけ自分の家で率先して食べたくなるようなもの、できるだけ新鮮なものを提供しておいしいものを食べてもらうようにしています。</p> <p>ただ、本当の意味での欠食児童への取り組みというのは、子ども食堂はたかだか月2回しかしていませんから、全くできていません。しかし、この子が普段、ご飯をあまり食べられていないな、という状況はうちの子ども食堂の場合はずかんでおります。それを地域の民生委員さんたち、自治会長さんたちを通じて、その子の日常生活の中でできるだけ食べられるような状況になったらいいなと願いつつ活動している、祈っているぐらいのレベルになるんですけども、そんな活動をしています。</p>
春木会長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。</p>
末岡委員	<p>もう一つ、いいですか。</p> <p>親子教室の実績がゼロと出ていましたが、食育カーニバルでやっているのは、あれは親子教室のうちに入らないのかなと思いました。</p>
事務局	<p>今の実績の記載の仕方としては、各生涯学習市民センターで実施されたものの回数のみを書いてある状況になってはいますが、毎年の食育カーニバルの中で、親子で取り組む体験型のレシピの紹介などの活動は保育所の方々に実施していただいていますので、そういった取り組みという</p>

	<p>のも集約できるように見直していきたいと思います。ありがとうございます。</p>
春木会長	<p>ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございませんか。</p>
末岡委員	<p>最初からずっと気になっていたことですが、食育はあくまでバランスのいい食事や、健康寿命を延ばすということにつながっていくもので、本当に欠食が多くある状況を解消しようという活動にはつながらないのではないのでしょうか。</p>
春木会長	<p>私は、そうではないと思います。現に取り組みをされている方たちがいらっしゃいますので。</p>
末岡委員	<p>本当に欠食児童をなくそうと思ったら、私たちにはできないです、全然できないと思います。例えば夏休みの給食がない時期の食事をどうするかということで、朝食を出しているという菅原東の子ども食堂にしても、土曜日の朝食ということでやっていらっしゃいます。</p> <p>では、日曜日はといいますと、日曜日に公園に行くとまだ朝からご飯を食べていないという子どもがいて、その子に菓子パンやおにぎりを渡すということをされている方を実際に私は知っておりますが、では、私たちが朝食を欠食児童に食べさせるような活動を展開できるかといわれましたら、まだコミュニティとしての力不足でそれはできていません。</p> <p>食育というのは、本当に欠食があって、それが発達に関してどれぐらいの影響を与えるか、かなり影響を与えるところまで行っているのでしょうか。あるいは逆に食事のバランスが悪過ぎて非常に太っている子どももいます。</p> <p>おやつはしっかり食べている子というのは確かに存じておりますし、そういう子たちには食育が必要なのですが、ネグレクトでおやつしか食べていないような子も実際にいます。</p> <p>それを食育という観点から解決していくという取り組みに高めることができるのか、それをどうやって進めていくのか、という気持ちを持っています。</p> <p>あと、一番最初に、学校の調理実習のときにネットはかけませんよね。かけていないですよ。</p>
渋谷副会長	<p>はい。排水口のところです。そうですね。</p>
末岡委員	<p>わかりました。この食育推進ということが実際に発達にまで影響を与えてしまうような欠食児童の改善につながるような活動というものを盛り込めたらいいかと希望しております。</p>

<p>春木会長</p>	<p>ありがとうございます。この食育推進計画は枚方市全域の住民の方、高齢者から小さな子どもたちまで全てを対象として取り組まれるというベーシックな取り組みがございます。</p> <p>今、お話しされていたことは、家庭環境等によってきちんとした食事が食べられない子どもたちがいるということで、そういったことは、枚方市に限らず、全国津々浦々でなさっているような、地域の方たちが活動として取り組みをされている子ども食堂をはじめとしていろいろされているというのは、今のわが国の現状だと思います。</p> <p>それも含めての食育推進ということで今後につなげていくということは事務局の方たちの思いなのかと思います。</p>
<p>堀委員</p>	<p>食育推進に関わるいろんな活動は、枚方市内にもっとたくさんあると思うのですが、資料を見ていて、市が把握している分というのはとても少ないと思います。私たちもいろいろやっていますけれども、書いていなかったなと思っていました。</p> <p>もう一つ、子ども食堂のことですが、やっぱりそのときだけつくって食べさせるというのは、毎日、毎日、3食、食べることを考えたら、もう完全に不可能です。</p> <p>だから、それよりも、食材を配るというような形の方向に持っていったほうがいいのではないかというようなことも前々から思っていたのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>末岡委員</p>	<p>今、家で料理ができないというご家庭、親が料理をつくってくれないご家庭、結構あります。</p> <p>私たちが子ども食堂をやっているところは府営住宅ですが、そこは料理をつくる習慣がない方々、他国籍の方も含めてお住まいで、料理というものができない、やったことがない、という親御さんがいらっしゃいます。</p> <p>それから、食事はコンビニのお弁当というのが毎日ですというご家庭もあります。</p>
<p>堀委員</p>	<p>私たちは、子どもでもできる食材・食事のレシピといったものも配布しておりまして、子どもたち向け、また親子向けの食育活動をやっています。電気もガスも水道も包丁も使わなくとも食べることができる栄養満点の食事はどんなふうにしたらいいのかな、といった工夫も考えて活動しています。子どもでもできる、高齢者でもできる、買い物弱者でもできる、といった活動もあるのではないかと思います。</p>
<p>春木会長</p>	<p>ありがとうございます。活発なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>食事に通常の朝昼夕、3食、あるいは間食も含めて、一日の食事をき</p>

<p>向井委員</p>	<p>ちっと摂取できない子どもたちがたくさん、一定数いるということは、どの都道府県も同じ状況にあって、今、日本ではさほど行政から何かの手が差し伸べられるということがあまりない状況の中にあります。</p> <p>本日の食育審議会は、枚方市全域の住民の方のための食育推進ということで進めておりますので、ここからは、枚方市全体としての食育推進、第3次計画をどう進めていくかという段階になりますので、その点を踏まえてご意見等々ありましたらお聞きしたいと思います。</p> <p>ちょっと内容が違うかもしれませんが、私が聞き落としたのかなとは思いますが、子ども料理教室や親子料理教室を計画はされていますが、令和元年度も、もう時間的には少なくなっていますけれども、予定はあっても実施ができていないということで、できていないその理由は何でしょうか。予定はもう決まっているということですか。</p> <p>子ども料理教室も4回の予定と書いてありますし、親子料理教室に関しても1回予定はありますが、決まってはいるということですよ。それとも、何か障害となることがあってできていないのでしょうか。</p>
<p>春木会長</p>	<p>事務局、お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>できなかったという点でご説明させていただいたのが、昨年度の親子料理教室の部分になります。親子料理教室の取り組みは、親子向けの学習のテーマを毎年変えておられまして、料理をする年もあれば、親子向けの図画工作などをする年もあり、違う体験活動をする年もあり、そういった年々のテーマを選ぶ中で、昨年度は料理というテーマを選ぶことができなかったというのが親子料理教室の項目の状況です。</p> <p>そのほかの、生涯学習市民センターで実施をしております子ども料理教室であったり、資料17ページの一番下のところの料理教室については、今、生涯学習市民センターそれぞれの中でどういった事業を行うかを検討するための、職員や地域の方と一緒に連携して取り組む会議があるというふうに聞いておられまして、その会議の中で予定を組んでおられます。ただ、その予定をしていたものが大きく回数が減ってできないということではなく、今年度の4回の開催予定ができなくなったというようなことはありませんので、会議の中で設定した内容を現在予定どおり実施しているのが今年度の現状と聞いております。</p>
<p>春木会長</p>	<p>ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問等はありませんか。</p>
<p>末岡委員</p>	<p>地域包括ケア推進課の事業の中で地域元気づくり教室がございます。口腔ケアに関してなんですけど、地域元気づくり教室で行わせていただいております。それらも載せていただけたらと思います。</p>

<p>矢野 地域包括ケア推進課長</p>	<p>わかりました。記載が漏れておりました。申し訳ありませんでした。</p>
<p>春木会長</p>	<p>ほかにございませんか。</p> <p>先ほど、第3次計画を大まかに説明をしていただきましたが、かなりの取り組み数にございまして、現状なさっていることを集約されているんですが、枚方市として、この第3次食育推進計画の中で重点的にここにフォーカスしてという内容があれば、あるいは今後こういうことを取り上げていきたいというようなことがありましたら、事務局のほうから少しご紹介いただければなと思いますけれども、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>さまざまなお意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>冒頭に少しご説明をさせていただいたのですが、この第3次計画の重点的に取り組んでいくものとしまして、この基本方向に示させていただいていますとおり、若い世代を中心とした食育の推進、こちらが国のほうも今回新たに盛り込んだ施策でして、今までは子どもからお年寄りまで幅広い層を対象として、ということだったのですが、特にこれからを担う、また健康寿命の延伸などにつながっていくということについて若い世代を中心とした食育の推進ということに取り組んでおります。</p> <p>それが、2番の健康寿命の延伸につながる食育の推進というところにもつながってこようかと思えます。</p> <p>引き続きネットワークによる食育推進や地産地消も若い世代中心に取り組んでいきます。</p> <p>それから、世代間の交流という意味も含めまして、共食、ともに食べるということの推進に力を入れていこうと考えているところです。</p>
<p>春木会長</p>	<p>ありがとうございます。若い世代というと、どのステージぐらいになりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>子どもからなのですが、子どもというのは親御さんの影響が強いかなと思いますので、子育て世代の方、それから学校の先生を通じて、子どもからということを考えております。</p>
<p>春木会長</p>	<p>第2次計画までは、枚方市内の大学生にもフォーカスするようなことがあったと思いますが、そのあたりは今後どうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>大学生へのアプローチといたしまして、市内に大学がたくさんございますので、そちらへ健康フェアという形で入らせていただいて、啓発を進めております。</p> <p>第3次計画からは、特にその際食育について資料をつくって配布するといったようなことにも取り組んでおります。</p>

春木会長	<p>大学生に向けての食育は継続でということですね。生活の自由度が高くなる世代で、それまで各家庭で一定の食事の基本というのは身につけているんですが、大学生あたりから崩れてきてそのまま社会人になっていくというのはかなりあります。</p> <p>そういう意味で、枚方市には大学が何校かありましたね。</p>
事務局	5校ございます。
春木会長	<p>5校。取り組みを継続されていたことはよかったですと思いますので、今後も何らかの形で継続していただきたいと思います。</p> <p>枚方市は中核市ですよ。中核市で農家の方がだんだんと少なくなってきたというのをお聞きしていますが、まだ都会のど真ん中の子どもたちに比べると、いろいろと食物にかかわる体験もすることができますので、そのあたりも含めて食育の幅を広げていっていただきたいと思います。</p> <p>それから、この計画を見ますとかなりのボリュームがあるので、第3次計画では何を優先的に行うかということもクリアにして、それを地域活動を実践する皆様方にもご紹介いただいて、皆で力を合わせて食育推進を展開していくということをお願いします。各自治体で、計画が第3次に入りましたので、ここで食育の成果といったものが出てこない、今後の食育を強化するという取り組みがどうなっていくのかという部分もあります。ぜひ枚方市でもそういった成果が何らかの形で見えるような取り組みを進めていただきたいですし、地域の方々もそれぞれにいろいろな取り組みを展開されていると思いますので、その中で子どもたちがこんなふう to 育っていくというよい点やメリットをうまく抽出していただいて、食育の成果として提示できればこの食育推進活動の意義が高くなるかなと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>もう少し時間がありますが、何かご意見ございますか。</p>
末岡委員	<p>食育ネットワークの会議でこの啓発リーフレットづくりを一緒にさせていただいて、その中ですごい議論になったのが、18ページに書いてあります中食です。</p> <p>その議論のときに、店頭にある加工済みの野菜をパッと見て、これは野菜だ、と言ったとしても、その野菜の栄養はさんざん洗い尽くされて流れていって、水溶性のビタミンやほかの栄養も全部流れ落ちてしまっていて、食物繊維くらいしか残っていないのではないかと話をしております。</p> <p>今後の課題に対する対応策、今後の方向性ということで、ヘルシーメニューの利用機会の増加については、このチラシの中でもどういうふうに表現したらしっかりした食べ物を食べてもらえるのかという話はすご</p>

	<p>くありました。中食に注目し、中食を提供するスーパーマーケットなどに協力を募るといふときに注意事項として、やっぱり調理・加工された食材にどれだけの栄養が残っているのかということにしっかり着目しないといけないと思います。無駄とまでは言いませんけれども、例えば、買って来たキャベツの葉っぱを1枚ちぎって食べたほうが、加工済みの千切りのキャベツを食べるよりうんと栄養価が高いですよ。すごくわかりやすい話だと思います。</p> <p>そういうことにきっちり着目して中食に活用しましょう、それが食育ということだと思います。</p> <p>家で料理をつくらぬ方が本当に増えていきますし、今までつくっていた人たちも、便利だといつてコンビニ、スーパーへ行っていると思いますので、そのときの注意といったことも、今後、この地域の食環境づくり推進事業の中でしっかりとやってもらいたいです。</p> <p>レストランでもどれだけ水に流しているのかと思いますので、栄養が流れ落ちていないかというチェックもぜひともしてみてください。</p> <p>今、すごく着目されていて、よく市長がフェイスブックで、「きょうの昼食、三ツ星レストラン」といったことをされておりますので、そのときにその栄養価まできっちり伝わるとういと思います。</p>
橋本保健企画課長	<p>担当しております、保健企画課の橋本でございます。</p> <p>ご指摘いただきましたとおり、やはり中食、外食と自宅で調理するのは若干違ふ部分があるというのは、十分承知しておるところです。事業を進めていくに当たり、事業者の方と、今ご指摘いただいた点についても共有させていただきます。</p> <p>ただ、進めていく中では私どもも大変難しく思ふのは、この外食、中食への流れ、それから自宅で料理をつくらぬという風潮というのはどんどんと進んでいく中で、さまざまな層をターゲットとした食育の一つとして、全くつくらぬ、常に外食という方にも少しはプラスに、改善になるようなきっかけになればとうい思ひもございます。メニューについてもまだ不十分な点はあるかと思いますが、この点、今後もできるだけいいものを目指して進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
春木会長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見、ご発言のない委員さんから何かありますでしょうか。</p>
宇佐見委員	<p>今日の末岡委員のご発言をいろいろ聞かせていただいて、本当に考えさせられたと思います。</p> <p>子ども食堂のあり方は本当に難しいと思つていますが、食育というのは、誰かが料理を誰かに提供する、それだけで食育だと私は思つているので、子ども食堂の取り組みは十分食育にはまっているのではないかと</p>

	<p>私としては思っています。</p> <p>ですが、栄養というところを第一に考えるのではないというのは、よく今日のご発言で学ばせていただきました。貧困対策として、セーフティネットとして、それから食育の中でも言われている社会性を身につけるという点でもこれから必要な場でもあるけれども、そういう子どもたちが増えてもいけないなという気がしています。今後ともまた考えさせていただきたいなと思うテーマでした。ありがとうございました。</p> <p>ほかにございますか。市としての食育推進をこれから進めていかれますので、やはり地域の方たちの活動というのはとても重要なことでして、いろいろときょうは活動のこともお話が出てきました。</p> <p>今日お話しがあったように、普通の何の問題もない家庭でも食事をきちんと作らなくなっているのは、もう、かなり進行しております。</p> <p>保健所、保健センターには子育て中のお母さま方がたくさんいらっしゃいますので、そのあたりのところでの支援といいますか、食育推進していただくことによって少しは広がるんじゃないかなと思いますので、いろんな分野で連携しながらこの第3次食育推進計画を進めていただきたいなと思います。</p> <p>では、こちらはご意見が出尽くしましたので、第3次計画の目標に向けて、この審議会におきまして委員の皆様方からいろいろとご存じになっている事柄のご意見等いただきながら、枚方市がきちんと食育を推進していくようお願いしたいと思います。</p> <p>では、一応、委員の皆様方のご意見が出尽くしたようですので、第3次枚方市食育推進計画の中間評価に関するアンケート調査について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、案件4、第3次枚方市食育推進計画の中間評価に関するアンケート調査についてご説明をいたします。</p> <p>先ほど、案件3の冒頭で少しお話しさせていただきましたが、計画の中間年度であります来年度に、この第3次計画の中間評価を行います。中間評価を行うに当たりまして、市民の皆様への食に関する意識であったり現状を調査するためのアンケートを来年度に実施する予定としております。</p> <p>このアンケート調査に関してですけれども、お手元にお配りしております資料5-1と5-2、こちらをごらんください。</p> <p>こちらのアンケート調査ですけれども、第3次計画策定時、平成29年度に実施しましたアンケートと同様の内容について追跡調査をすることで、計画策定からこれまでの機関の取り組みの効果や課題について評価するための材料としてアンケート調査を実施するものでございます。</p> <p>今、お手元にお配りしているアンケートの案が資料5-1と5-2になっておりまして、こちらがその前回アンケートの内容をもとに作成し</p>

	<p>たものです。</p> <p>まず、資料5-1の食に関する市民意識調査アンケートですけれども、こちらは二十歳以上の市民の方を対象に行うもので、無作為抽出した市民の方3,000人を対象にアンケートをお送りし、回答をお願いしたいと考えております。</p> <p>もう一点、資料5-2の食に関するアンケートのお願いという資料ですけれども、こちら内容は市内の高校生、大学生、専門学校生にアンケートを行うもので、市内の各学校へ配付させていただき、およそ2,000人前後の方にアンケートを行う予定としております。</p> <p>これらの項目について来年度にアンケートを実施いたしまして、集計結果をもとに、また中間評価についてこの審議会の場でご審議をいただきたいと思っております。</p> <p>本日はこのアンケートの内容をご確認いただきまして、もし内容についてご意見がありましたら、後日でも結構でございますので、事務局へご連絡いただき、次年度の調査実施に向けて内容を作成していきたいと考えております。説明は以上でございます。よろしく申し上げます。</p>
春木委員	<p>ありがとうございます。来年度に実施する中間評価に向けたアンケートについて、委員の皆様、何かご意見等、あるいはご質問等、ございませんか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
春木委員	<p>では、案件5、その他について、事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>本審議会の開催予定ですが、本年度は進捗状況をご確認いただくということで本日の1回のみとなります。</p> <p>来年度につきましては、第3次枚方市食育計画の中間年度で中間評価を行ってまいりますので、9月以降におおむね2回程度の審議会を開催させていただきまして、評価、審議いただく予定としております。また来年度、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日、たくさんご意見を頂戴いたしまして、本当にありがとうございました。まだちょっと集約しきれていない部分がありましたが、各団体様にご活動いただいている内容につきましては、できる限りこちらも情報をつかんでいきたいというふうに思いますし、また子どもたちの欠食につきましても、さまざまな観点で、食だけではなく生活習慣などのさまざまな観点で、トータルで枚方市として考えていきたいというふうに思っております。</p> <p>本日の案件ですけれども、資料が膨大な中で、また時間が限られた中でございましたので、この後、ご意見、お気付きの点などございました</p>

春木会長	<p>ら、事務局までお寄せいただければと思っております。</p> <p>一応、期限といたしまして12月27日に設定させていただきまして、それまでにご意見をいただければと思います。また、それ以降でありましてもご意見を頂戴できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。追加のご意見がありましたら、事務局のほうにお知らせいただきますようお願いいたします。</p>
末岡委員	<p>福祉の審議会でも議論になった内容がありまして、私はここで議論を、ということではありませんが、先日問題になっていたので一応、言っておきます。</p> <p>性別で「男・女」と書かれると、どちらかに丸をつけることができない人がいるという話で、最終的にどういった記載にされたのかは、また福祉の担当にも確認してください。「その他」か、あるいは「答えたくない」とかそういう表現だったか、何かそういう項目があると書きやすいというようなお話が出て、記載を追加されたと思います。</p>
事務局	<p>ご意見、ありがとうございます。アンケートを取るときに対応したいと思います。ありがとうございます。</p>
春木会長	<p>よろしくお願いします。ほかにご意見、ご質問等はございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>特にございませんようですので、これで本日の審議会を終わらせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。</p>